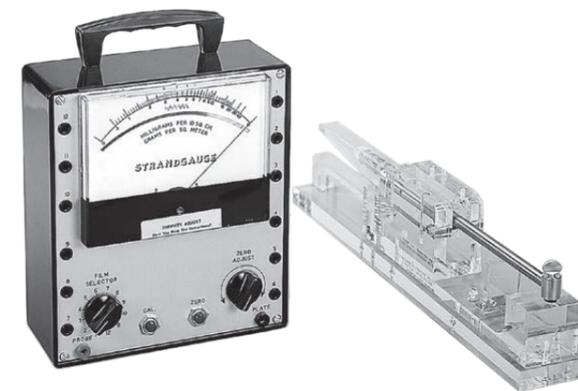


## 薄膜厚測定器 ストランドゲージ



### <輸入元>

**FIT エフアイテック株式会社**

東京都千代田区神田紺屋町46番 風月堂ビル2F  
TEL:03-3256-1027 FAX:03-3256-3793

### <販売会社>



### 株式会社ケツト科学研究所

東京本社	〒143-8507	東京都大田区南馬込1-8-1	☎ 03-3776-1111	☎ 03-3772-3001
大阪支店	〒533-0033	大阪市東淀川区東中島4-4-10	☎ 06-6323-4581	☎ 06-6323-4585
札幌営業所	〒063-0841	札幌市西区八軒一条西3-1-1	☎ 011-611-9441	☎ 011-631-9866
仙台営業所	〒980-0802	仙台市青葉区二日町2-15 二日町鹿島ビル	☎ 022-215-6806	☎ 022-215-6809
名古屋営業所	〒450-0002	名古屋市中村区名駅5-6-18 伊原ビル	☎ 052-551-2629	☎ 052-561-5677
九州営業所	〒841-0035	佐賀県鳥栖市東町1-1020-2	☎ 0942-84-9011	☎ 0942-84-9012

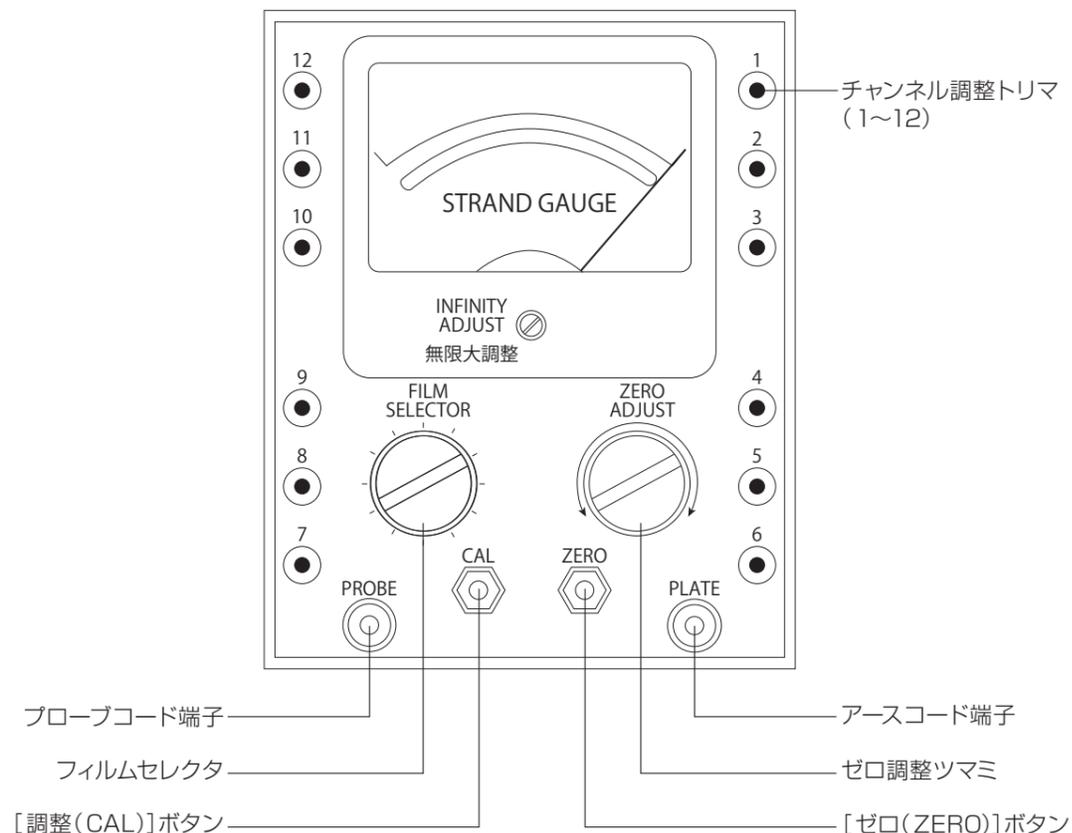
✉ sales@kett.co.jp @http://www.kett.co.jp/

## 取扱説明書

お買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。  
取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

## 本体各部の名称と仕様

### ■ 本 体



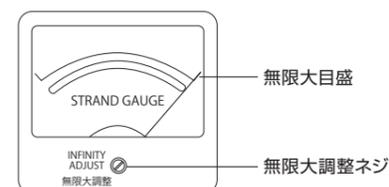
### ■ 仕 様

- 測定方式：導電率式
- 測定対象：金属上の絶縁被膜
- 測定範囲：0.5~40 $\mu$ m(ただし、比重が1のとき)
- プローブ：曲面測定用
- 表示方式：アナログ
- 電 源：AC100V(50/60Hz)
- 寸 法：190(W)×210(D)×100(H) mm
- 質 量：1.7kg
- オプション：平面測定用プローブ

## 使用方法

### ■ 測定の準備

- (1) プローブコード(赤いコード)とアースコード(黒いコード)を本体に接続し、黒いコードの先端を手で持ちながら、本体の電源コードをAC100V電源に差し込みます。
- (2) 電源コードのコンセント差し込みを左右逆にして差し込みます。メータの右端(無限大)から振れの少ない方を選んで電源に接続します。
- (3) 図のように指針が無限大目盛(右端)に重なっているか確認します。重なっていない場合は、無限大調整ネジをマイナスドライバで回転させて調整します。



- (4) ゼロ調整ツマミを右方向に最大まで回してから、フィルムセレクタを指定の番号に合わせます。  
\* フィルムセレクタは番号ごとに検量線の傾きが異なります。どの番号を使用するか定まらない場合は、「1番」を使用してください。
- (5) [ゼロ(ZERO)]ボタンを押します。  
図のように指針がゼロ点目盛(左端)に重なるように、ゼロ調整ツマミを左に回し調整します。



- (6) [調整(CAL)]ボタンを押します。  
メータ指針がフィルムセレクタ番号と同じフィルムセレクタ調整ポイントの番号(測定目盛の下)を指しているか確認します。合わない場合には、チャンネル調整トリマを回して調整します(「■ トリマ調整」参照)。

以上で指定のフィルムセレクタ番号の準備が完了です。ほかのフィルムセレクタ番号を使用する場合は、同様の手順をやり直してください。

### ■ トリマ調整

トリマは基本的に出荷段階に調整してあります。毎回の調整に必要な作業ではありませんが、環境変化や経時劣化によりズレが生じたときに調整してください。

\* トリマ調整を行う場合は、プローブコードとアースコードを抜いてから行ってください。

- (1) フィルムセレクタを選択します。
- (2) 「■ 測定の準備(1)~(5)」を行います。
- (3) [調整(CAL)]ボタンを押し指針のズレを確認します。
- (4) [調整(CAL)]ボタンを押しながら、該当する番号のトリマをマイナスドライバで回します。目標目盛よりも、ややオーバー気味で回し、ゼロ調整の反動をうまく利用してください。
- (5) 再度ゼロ調整を行い、[調整(CAL)]ボタンを押し指針が該当する番号のポイントを指しているか確認します。  
  
上記(1)~(5)の作業を指針が合うまで繰り返します。

### ■ フィルムセレクタの選び方

セレクタの番号はフィルム(被膜)の材質により選択します。

- (1) 被膜が均一に塗布されたサンプルを用意し、そのサンプルから下図のように3つの円盤(直径約50mm)の面積分を切り取ります。
- (2) 3つの円盤の被膜を質量法でそれぞれ測定し、それらの平均値を算出します。
- (3) ストランドゲージで三角形の中心部(図の斜線部分)の被膜質量を測定し、(2)で求めた平均値に最も近い値を示すセレクタ番号を選びます。

